

<令和2年度特例> 長崎県高等学校新人体育大会弓道競技 競技規則

1. 競技種目 近的競技 直径 36 センチ霰的
2. 競技種別 男女別
3. 競技種類 団体競技(5人立)および個人競技
 - (1) 団体競技 監督1名 選手5名 補欠2名以内
 - (2) 個人競技
団体競技予選で8射行射した選手
団体競技に参加できない高校に限り監督1名 選手4名以内
4. 競技方法 的中制 立射 順立 予選決勝方式
 - (1) 団体競技
予選
ア 団体40射(各自4射2回×5人)を行い、上位12団体を決勝進出とする
イ 予選順位4位および12位が複数団体ある場合は、団体5射(各自1射×5人)の競射を行い、順位を決定する
決勝トーナメント
ア 決勝はトーナメント戦とし、対戦順番は「別表：決勝トーナメント表」の通りとする
イ 団体20射(各自4射×5人)を行い総的中数の多い団体を勝ちとする
ウ 同中の場合は団体5射(各自1射×5人)の競射を行い、勝敗を決定する
* 競射の1本目は替矢を用いる(競射2本目以降は矢返しを行う)
 - (2) 個人競技
各選手8射(各自4射2回)を行う
団体出場者は予選の成績を個人競技の成績とする
順位の決定は総的中本数の多い順とする
同中の場合は射詰競射により順位を決定する
5. 制限時間
 - (1) 団体競技
進行委員の合図により始まり、最後の射手の最後の離れで終る
行射制限時間は1立ち6分を限度とし、5分30秒で予鈴の合図を行う
予鈴が鳴っても順立を崩してはならない
時間内に射放たれない時は、その矢は失効する
弦切れの場合は該当団体のみ1分延長する(弦切れの際の弦の張り替えは監督または介添が行う)
 - (2) 個人競技
個人競技のみ出場する選手の行射は特に設けないが「弦音打起し」を原則とし、前立の者以前に矢を発射してはならない
6. 選手交代
 - (1) 予選
選手交代は補欠登録選手1人につき1回まで認める
選手交代して出場選手でなくなった選手の再出場は認めない
ゼッケンは交換しない
選手交代は1件ずつ行つても2件同時に行つてもよい
選手交代は出場30分前までとし、所定の用紙で届け出なければならない
選手交代をした後に事故等が生じ、出場選手が欠場する場合は欠員のままとする
立順の変更は認めない
 - (2) 決勝トーナメント
すべての立を独立した試合と見なし、選手の交代は所定の用紙で届け出なければならない
7. 競技順序 * 男女の後先は隔年交代(次年度の全国総体に準じる)
 - (1) 第1日目...女子の部
 - (2) 第2日目...男子の部

8. 決勝トーナメントの組合せおよび抽選

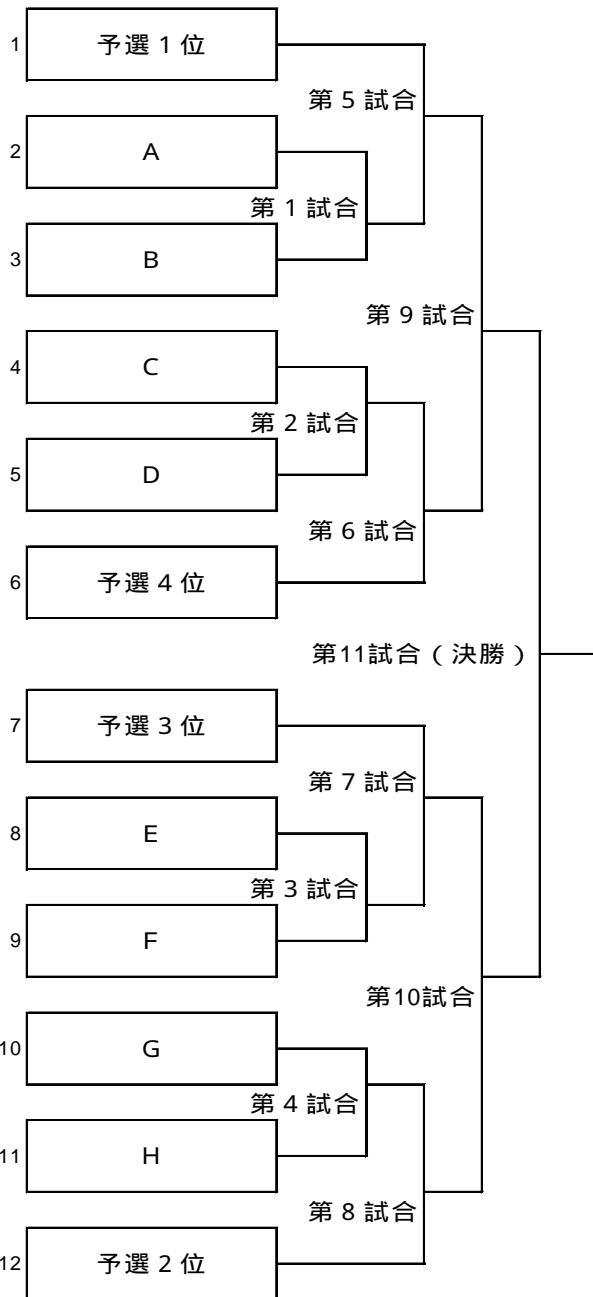
- (1) 組合せおよび試合順は別表の通りとする
- (2) 予選順位5位から12位のうち同位が複数ある場合は立順の早い順に抽選を行う

9. 召集および弓具等点検

- (1) 第3控で選手の点呼および弓具や服装、ゼッケン等の点検を行う
- (2) 第3控から第2控に移動する際に不在の選手は「その立」に限り失権とする

10. その他の競技規定

- (1) その他は「全国高等学校体育連盟弓道競技規則(必携)」による
- (2) ただし上記が本規則と異なる場合は本規則を優先する



* トーナメント表の上方が第1射場、下方が第2射場

別表：令和2年度 県新人 決勝トーナメント表

付則

令和2年度の特例として制定する